

オオサカハイマック通信

VOL.7 (2018年7月)

MOU 締結

6月2日(土)に台湾の花蓮慈濟醫院(Hualien Tzu Chi Hospital)とMOU(Memorandum of Understanding)を締結致しました。今後、人材交流、医療連携プログラムの構築、学術共同研究等を行っていく予定です。花蓮慈濟醫院は台湾での重粒子線治療施設建設を目指しています。



花蓮慈濟醫院の林院長先生(右)と 幣財団理事長の高杉 豊(左)

CT搬入

6月10日と17日の2週に亘り治療室2およびCT室2にそれぞれX線CT装置が搬入されました。両装置ともキャノンメディカル(旧:東芝メディカル)社製で、治療室には Aquilion LB(大口径・16列検出器)、CT室2には Aquilion PRIME(80列検出器)が設置されました。前者は、In-room CTとして、治療室内で照射直前のCT画像による腫瘍・臓器位置確認が可能で、位置照合精度の向上が期待できます。後者は、既存のCT室1に比べて、X線管球1回転あたり撮影できる範囲が体軸方向に約5倍広く、また、回転速度も速いため、撮影速度がより向上しており、治療計画用途のみならず画像診断用としてその性能を発揮できます。



X線CT装置の搬入と据付

スタッフ紹介

物理科長 高階 正彰



- 1999年4月 日本学術振興会・特別研究員(DC1)
- 2003年3月 大阪市立大学 大学院 理学研究科 後期博士課程 数物系専攻 修了
- 2003年4月 理化学研究所・基礎科学特別研究員
- 2006年4月 京都大学 基礎物理学研究所・研究機関研究員
- 2008年4月 大阪大学 核物理研究センター・特任研究員
- 2009年10月 大阪大学 大学院 医学系研究科・特任助教
- 2015年12月 大阪大学 大学院 医学系研究科・助教
- 2017年4月 大阪重粒子線センター 放射線物理部・科長に就任

講演

5/19(土) 演題「新しい重粒子線治療について」
演者:茶谷 正史 副センター長(医師) 場所:松原市医師会

6/2(土) 会議名:INTERNATIONAL SYMPOSIUM FOR HIGH
PRECISION RADIOTHERAPY
演題「Heavy ion radiotherapy in Osaka-HIMAK」
演者:溝江 純悦 センター長(医師)
場所:花蓮慈濟醫院(台湾)

6/20(水) 会議名:大阪府がん診療連携協議会 小児・AYA 部会
演題「重粒子線治療について」
演者:安西 誠 医師 場所:大阪国際がんセンター



センター長の講演

重粒子線がん治療部位別治療検討ワーキング

下記にて重粒子線治療ワーキングを開催しました。

6/7(木) 頭頸部グループ第1回委員会

6/11(月) 骨軟部グループ第1回委員会

6/12(火) 呼吸器グループ第1回委員会

6/25(月) 婦人科グループ第1回委員会

大阪国際がんセンター、大阪医科大学、大阪市立大学、大阪大学、関西医科大学、近畿大学の班員の先生方にお集まりいただき、本年秋の重粒子線治療開始に向けて、プロトコルの検討等行って頂きました。

お知らせ

重粒子線治療開始に向けて、治療計画装置のビームデータの取得ならびに調整を行っています。

重粒子線照射開始は2018年10月を予定していますが、6月末で約70名の前立腺がん治療の仮予約がありました。

切除非適応の骨軟部腫瘍、限局性前立腺がん・頭頸部がんの一部に対する重粒子線治療は保険適用です。

診療予約方法等については、ホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-himak.or.jp/>

— 寄附のお願い —

大阪国際がん治療財団では、広く寄附を募っています。

当財団へ寄附いただいた方には、特定公益増進法人に対する寄附として税制上の優遇措置があります。

詳しくは当財団までお問合せ願います。

— お問い合わせ —

発行元:公益財団法人 大阪国際がん治療財団 大阪重粒子線センター

電話:06-6947-3210 ファックス:06-6947-3211

住所:〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前3-1-10

HPアドレス:<https://www.osaka-himak.or.jp/>

大阪重粒子線センターや治療についての詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-himak.or.jp/>

